

令和3年度 渋谷区理科部 活動報告

渋谷区立小学校理科研究会

1 前年度の研究

(1) 研究主題について

令和2年度の研究主題を「育てよう 資質・能力 ～系統性を意識した理科の授業づくり～」とし、単元で育む資質・能力と系統性や関連性、新教材等の研究を進めてきた。研究主題の「資質・能力」を生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」と捉え、さらに理科の学びの基盤となる問題解決の力や活用力、言語力、情報収集・情報活用力等も含めると考え、組み立てることで、他教科を含めた既習事項を根拠にしたり、関連付けて考えたりすることが大切だと児童も教師も感じるようになり、知をつなげて網の目のように広い視野で考える児童を育成することにつながっていくのではないかと考えた。

2 今年度の研究

(1) 研究主題について

「育てよう 理科の資質・能力」～資質・能力を見取る評価の仕方～

(2) 研究の方向性

渋谷区理科部では、今年度の研究主題を「育てよう資質・能力～資質・能力を見取る評価の仕方～」とした。研究主題の「資質・能力」を生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」と捉え、さらに理科の学びの基盤となる問題解決の力や活用力、言語力、情報収集・情報活用力等も含めることとした。

授業を組み立てるうえで、「単元の目標」や「評価の規準」を設定することは必然である。しかし、これまでの研究を振り返ってみると、客観的な指針や判断が考えられてきたとは言い難い。

そこで、まず単元の特性を踏まえて「単元の終わりにどのような児童の姿が見られることを目指すのか」を具体的に示すことにした。さらに、指導案の中でその時間の「重点とする資質・能力」「B 評価の児童の姿」「A 評価の児童の姿」「B 評価に達しない児童への支援」を示すことにした。スモールステップを踏むことで、児童一人一人に応じた指導や支援ができ、ねらいとする「資質・能力」を育成することができると考えた。昨年度までに研究したカリキュラム・マネジメントを生かし、問題解決学習の流れに沿って授業を展開することで、児童の「知識・や技能」、「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力の育成ができると考え、研究を進めている。

(3) 研究計画

日程	内容	会場・授業者等
4月21日	自己紹介 役割分担 年間計画	歓送迎会
5月12日	今年度の研究テーマについて	会場:神宮前小学校
6月30日	分科会	講師:国立教育政策研究所名誉職員猿田祐嗣先生
8月27日	分科会	
9月8日	研究授業(緊急事態宣言中のため中止)	
10月13日	分科会	
11月10日	研究授業(6年)中幡小学校	
12月8日	研究授業(6年)西原小学校	
1月12日	今年度の研究の総括	
2月16日	渋谷区発表	